

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和8年3月23日

【事業所名】 ふじみ野市立児童発育・発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせてパーテーションで発達支援室内を区切り対応をしています。 ・子ども用トイレを使用する際、利用時間をずらし対応しています。 ・運動活動の際は、屋外遊戯場のほか、必要に応じて近隣公園や複合型施設を機能を活かして施設内の大ホールを使用しています。 ・発達支援室内で物を置く場所は最小限にし、他は棚等を使用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性等を配慮し、発達支援室及び子ども用トイレを工夫しながら支援を行ってまいります。 ・様々な活動を通じて子どもの心身の成長を図ることを目的とし、継続して指定の屋外遊戯場のほか、近隣公園、公立保育所との交流保育の際の保育所園庭、近隣小学校校庭等を使用しながら支援を行ってまいります。
	②	職員の配置数は適切である。	14	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人数が確保できる時には施設外の活動を取り入れています。 ・職員が急遽の休みがある時に支援ができない時があるため、活動内容を変更して行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制の影響が子どもへの支援へ影響しないよう、継続して安定した職員体制を確保するとともに、活動内容を工夫ながら対応してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに応じて個別でスケジュールを作り視覚的に伝えたりしています。 ・必要に応じて、写真や絵カード、スケジュール提示等の視覚支援を取り入れ、また活動によってパーテーションを使用し、子どもが落ち着いて取り組める環境を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して対応してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・給食後や活動後には清掃を行っています。 ・発達支援室内の湿度や温度を計測し、また窓からの換気のほか、加湿器や空気清浄機を使用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して対応してまいります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	18		<ul style="list-style-type: none"> 正規及び非正規の職員との支援方法等の検討時間の確保が難しい時があるため、会議議事録等の閲覧等により情報共有を図るなどに取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して対応してまいります。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	18			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	18			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	16	2		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	18	0	子ども家庭福祉関連の研修会開催に関する情報を職場内で周知しています。	継続して支援に係る研修内容を職員全体に周知するとともに、職員全員が直接参加できる研修の機会を検討してまいります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	18	0	各児童発達支援のクラスや相談支援担当と話し情報を共有しています。	継続して対応してまいります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	17	1	毎日個別の支援記録を記入し、職員間で共有できるようにしています。	支援記録のほか、子どもの適応行動からみる発達水準を評価する等のアセスメントができる体制を検討してまいります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	18	0	職員間で情報等を共有するようにしています。	継続して対応してまいります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	18	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	18	0		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	18	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	18	0	子どもの発達段階に応じてグループ分けをして活動をしています。	継続して対応してまいります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	18	0	配慮等も含め、ホワイトボードを使用し分かりやすくして対応しています。	継続して対応してまいります。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	18	0	正規と非正規の勤務時間が異なる等により、詳細な連携が難しい時があるため、支援記録の閲覧等工夫し対応しています。	継続して対応してまいります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	18	0		
⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	18	0			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	16	2		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	17	1		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	-	-		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	-	-		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	17	1		
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	18	0		
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	14	4		今後他の児童発達支援センターや地域の障害児通所支援事業所との直接支援に係る交流の機会や研修等を実施してまいります。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	18	0	市内5か所の公立保育所を訪問し、同保育所の子どもとの交流を行っています。	現在の取り組みを継続しながら、子ども同士の交流が深まり様々な経験はできるよう工夫をして対応してまいります。
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	18	0	地域の障害児支援中核拠点として、市自立支援協議会子ども部会へ参画しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	18	0	面談や日々の連絡ノートを通して、子どもの成長の共通理解を持てるようにしています。	継続して対応してまいります。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	15	3		児童発達支援ガイドラインや保護者支援等の研修内容から、保護者の状況に応じて対応してまいります。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	18	0		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	18	0		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	18	0		
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	18	0	保護者会を開催し、保護者間の交流のほか、支援者側から研修を行うなどの取り組みをしています。	継続して対応してまいります。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	18	0		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	18	0	園だよりを定期発行し、子どもの活動の様子や行事予定などを保護者に提供しています。	継続して対応してまいります。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している。	18	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	17	1		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	9	9		
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	17	1		平時において万が一を想定した訓練を継続して行うとともに、職員が効率的に支援を含めた業務が遂行できるよう、マニュアルを職員全員が把握できる体制等を工夫して対応いたします。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	18	0	児童福祉施設としての必要な訓練のほか、保護者メールを活用し大規模災害を想定した、利用中のこどもの引き渡し訓練、また消防署による防火防災講義、消火器使用取扱訓練及び起震車を使用した訓練等を行い、万が一の事態に安全に子どもへ対応できるようにしています。	児童福祉施設としての基本的な訓練について様々な事案を想定して行い、またセンターが複合施設に入居していることから、施設全体としての合同訓練等の実施を提案してまいります。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	18	0		
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	17	1		
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	18	0	各児童発達支援のクラスや相談支援担当と話し情報を共有しています。	継続して対応してまいります。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	18	0	指定基準上実施すべき委員会や研修の実施のほか、地域の障害児通所支援事業所全体での研修や意見交換を行っています。	継続して対応してまいります。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	18	0			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。